



Wired BOX-Type RFID 取扱説明書

ASR-032W

Copyright © アスタリスク株式会社.All Rights Reserved.

AsReader ®は、株式会社アスタリスクの登録商標です。

その他の会社名および製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

修正履歴

バージョン	説明	日付
第 1 版	新規作成	2022/9/28
第 2 版	スペルミスの修正	2023/1/13
第 3 版	Region 機能の追加 製品仕様の誤記を修正	2024/12/16

目次

1 Wired BOX-Type RFID について 4

- 1.1. はじめに 4
- 1.2. 安全上の注意（必ずお守りください） 7
- 1.3. 製品外観図 9
- 1.4. システム構成 10
- 1.5. 製品仕様 12

2 機器の接続 14

- 2.1. アンテナの接続 14
- 2.2. HID デバイスの接続 15
- 2.3. プリンターの接続 15
- 2.4. キャッシュドローアの接続 16
- 2.5. iOS デバイスの接続 17
- 2.6. PoE 給電機器の接続 17
- 2.7. 電源オン/電源オフ 18

3 デモアプリケーション操作説明書 19

- 3.1. Wired BOX-Type の接続 19
- 3.2. ネットワーク設定 22
- 3.3. 基本機能設定 26

- 3.4. RFID タグの読み取り 28
- 3.5. バーコードの読み取り 30
- 3.6. プリント 31
 - 3.6.1. プリンター設定 31
 - 3.6.2. レシート印刷 33
- 3.7. キャッシュドロア 34
- 3.8. RFID 設定 35
 - 3.8.1. Output Power 36
 - 3.8.2. On/Off Time 37
 - 3.8.3. Session 38
 - 3.8.4. Region 39
 - 3.8.5. Update Registry 40
- 3.9. ファームウェア更新 41
 - 3.9.1. ネットワーク機能ファームウェアの更新 43
 - 3.9.2. 「RFID Module」ファームウェアの更新 47
- 4 Wired BOX-Type OS アップデート 52**
- 5 トラブルチェック 55**
 - 5.1. 故障かなと思ったとき 55

1 Wired BOX-Type RFID について

1.1. はじめに

この度は、「Wired BOX-Type RFID ASR-032W」をご購入いただきありがとうございます。

このマニュアルは、Wired BOX-Type RFID ASR-032W（以下、Wired BOX-Type または AsReader と呼びます）を使用する上での注意事項を記載しています。このマニュアルをよくお読みになり、本製品をご利用の間は、大切に保管してください。

Wired BOX-Type は PoE 給電機器または PoE スイッチから電力供給を受けて動作し、iOS デバイスへの充電とその制御、有線ネットワークの提供を同時に行うことができます。更に Wired BOX-Type は RFID の読み取り機能を持ち、また複数の外部 USB 機器（バーコードスキャナー、プリンターなど）と接続することが可能で、これらの機能の制御を iOS デバイスから行うことが可能です。

問い合わせ先

この取扱説明書に関するご意見、ご質問は下記へご連絡ください。

株式会社 アスタリスク サポートセンター

〒532-0013 大阪市淀川区木川西 2 丁目 2-1 AsTech Osaka Building 5 階

TEL: 050-5536-8733

★本書の著作権は弊社に帰属し、弊社の承諾なしに本書の一部または全部を複写、転載、改変、他言語への翻訳などを行うことは禁じられています。

★本書の内容に関しては、仕様改良などにより予告無しに変更することがあります。なお、本書に記載された画像はイメージであり、実際の製品と異なる場合があります。

★弊社では、お客様の生命や身体、財産に被害を及ぼすことなく安全に使っていただくために、細心の注意を払っております。本製品をご使用になる際には、本書をよくお読みの上、お使いください。本書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、弊社は責任を負いかねますのでご了承ください。

★地震、雷、風水害などの天災及び弊社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関しては、弊社は責任を負いかねますのでご了承ください。

★弊社が落下・衝撃によると判断した不具合に対しては、保証期間内であっても有償修理となります。

★弊社では、弊社製品が他の特許などを侵害しない為の適切な処置をとっていますが、以下の(1)～(3)のいずれかを原因として生じた特許などの侵害については、責任を負いかねますのでご了承ください。

(1)弊社以外から供給された部品、製品、装置、データ処理システムあるいはソフトウェアと組み合わせて使用された場合

- (2) 弊社製品が意図されない方法で使用された場合
- (3) 弊社以外によって行われた弊社製品の改変

1.2. 安全上の注意（必ずお守りください）

ケガや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している警告、注意事項を必ずお読みください。

 警告
<p>分解や改造、修理などをご自身で行わないでください。故障、発火、感電の原因になります。万一、改造などにより AsReader やパソコン、スマートデバイスなどに不具合が生じて、弊社は一切の責任を負いかねます。</p>
<p>使用中に AsReader から煙がでて、異臭や異音がしているなどの異常があるときは、すぐに使用をやめてください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。</p>
<p>AsReader を落としたり、投げつけたりするなど強い衝撃を与えないでください。破損、発火、感電、故障の原因になります。また、落下してけがをする恐れがあります。落下により AsReader が破損し、機器内部が露出した場合は、露出部に手を触れないでください。感電したり、破損部でけがをする場合があります。</p>
<p>各コネクタの端子へ金属などを接触させないでください。大電流が流れて発熱・発火したり、機器を破損したりする原因となります。</p>
<p>AsReader を水に濡らさないようにしてください。火災・感電の原因となります。万一、機器の内部に異物や水などが入った場合は、すぐに電源ケーブルを抜いてください。</p>
<p>指定された電源電圧以外では使用しないでください。機器の破損・発火事故の原因となります。</p>
<p>AsReader を用いた薬品の管理等、人命に影響を与える可能性があるシステムを構築される場合は、データが誤った場合でも人命に影響を与える可能性が無いよう、冗長設計、安全設計には十分ご注意ください。</p>
<p>AsReader は出力 200mW の UHF 帯の電波を使用した RFID 機器のリーダーです。そのため使用する用途・場所によっては、医療機器に影響を与える恐れがあります。この影響を少なくするために、運用に際して以下のことを厳守されることをお願いします。</p> <ol style="list-style-type: none"> AsReader 操作者は、AsReader を植込み型医療機器の装着部位より 22cm 以内に近づけないこと。 植込み型医療機器装着者は、AsReader より 22cm 以内に近づかないこと。 <p>海外へ持ち出す際は、各国の法令に対応する必要があるため、事前にご相談ください。</p>
 注意

AsReader は、920MHz 帯移動体識別無線設備です。電波法に基づく技術適合証明を取得しており、導入にあたって手続きは不要です。なお電波法令により無線局の改造は禁止されており、違反すると法律により罰せられます。
AsReader と接続する PoE 給電機器は本書に記載のある規格の機器を使用してください。規格外の機器を使用した場合、AsReader の故障や動作不良を起こすことがあります。
AsReader を廃棄するときは、法令およびお住まいの地域の条例に従って処分してください。
AsReader を使用して異常を感じた場合は、即座に使用を中止し、お買い上げの販売会社にご相談ください。
直射日光が当たる場所など非常に温度が高くなる場所に放置しないでください。ケースや部品に悪い影響を与え、機器の破損・発火事故の原因となります。
ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちて、危機の破損や怪我の原因となることがあります。

お手入れの仕方

AsReader は常にきれいな状態でご使用ください。AsReader が汚れたときは、乾いたやわらかい布でふいてください。シンナー、ベンジンなど揮発性の溶剤を使用すると、変質や変色を起こす恐れがあります。

1.3. 製品外観図

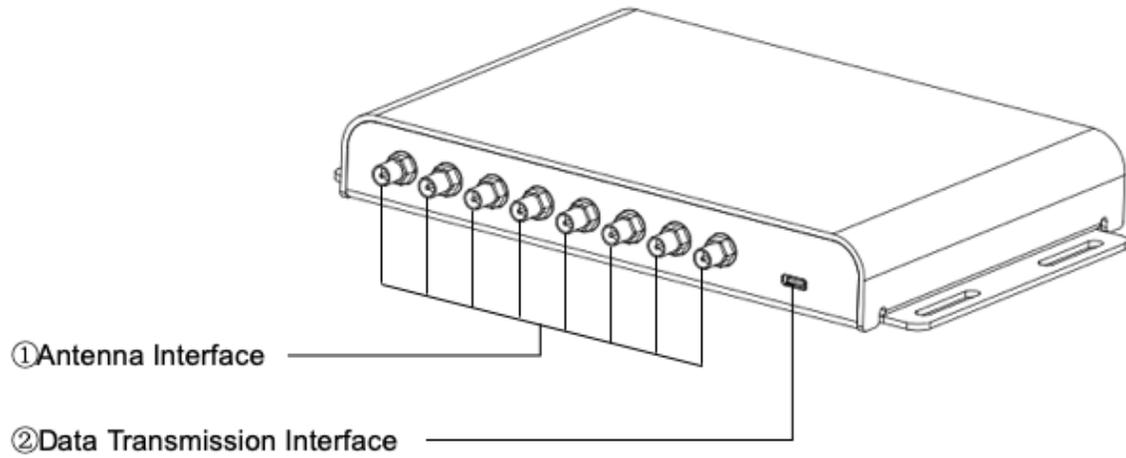


図 1-3-1 外観図 (正面)

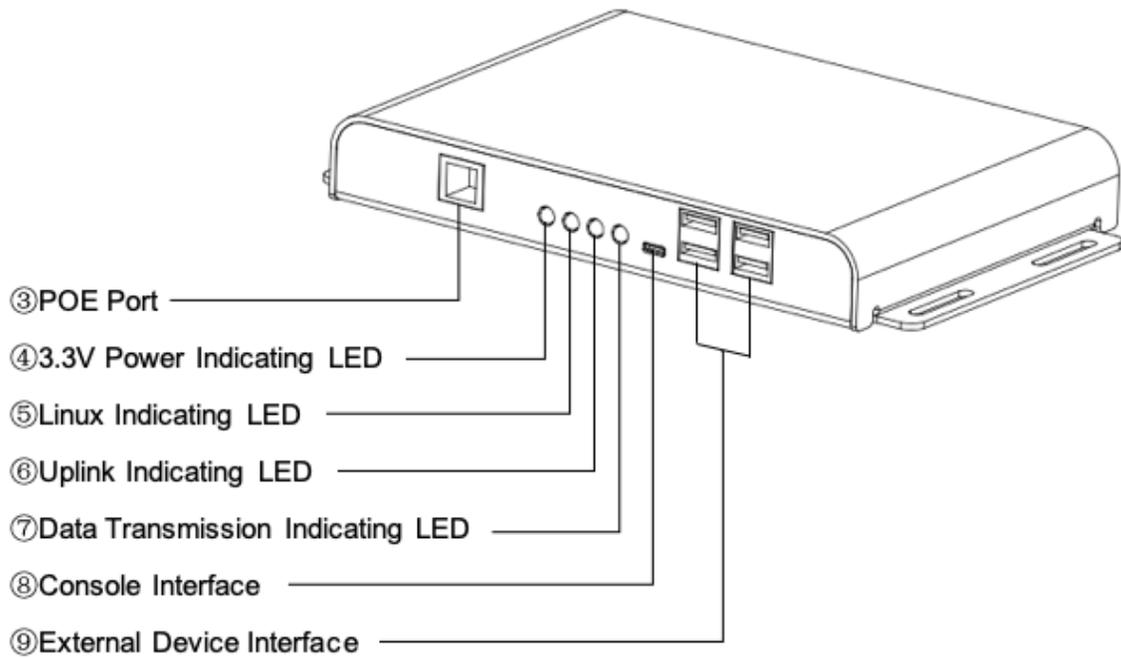


図 1-3-2 外観図 (裏面)

1.4. システム構成

Wired BOX-Type を使用したシステム構築には、Wired BOX-Type 本体の他に下記のハードウェア、ソフトウェアが必要になります。使用する電源や通信の種類によって、必要なハードウェアが一部異なります。

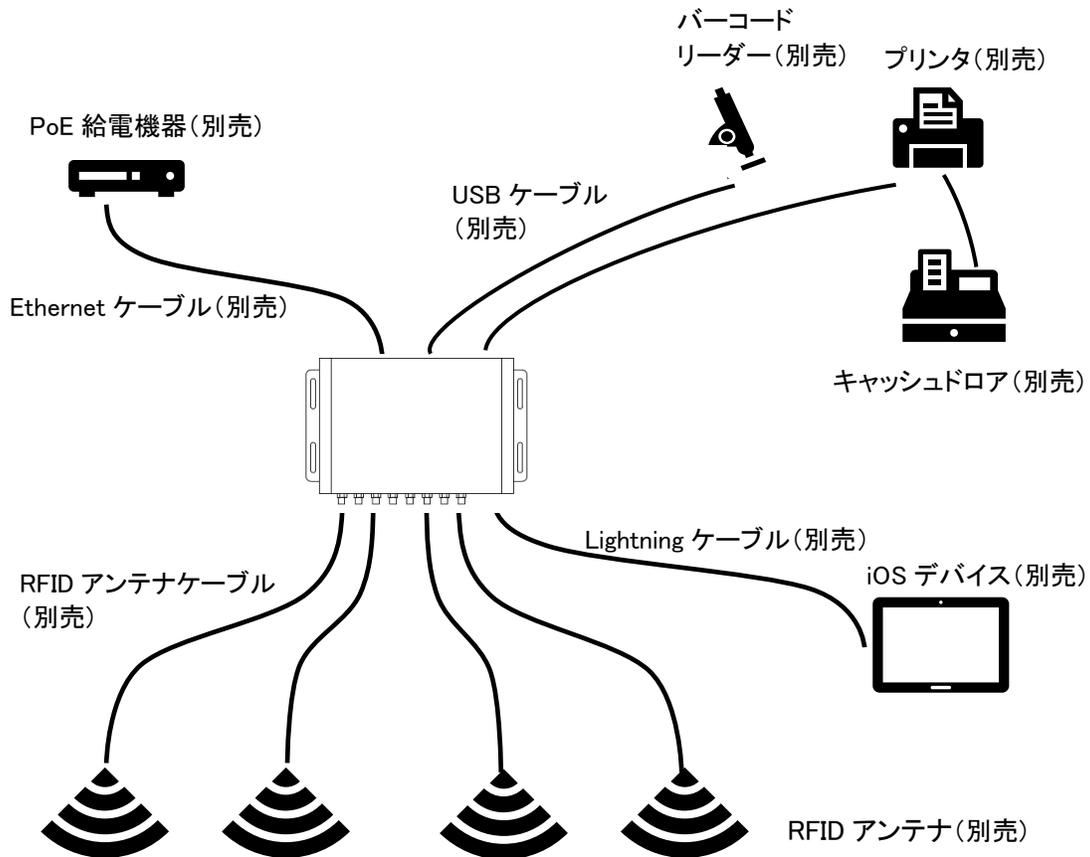


図 1-4-1 接続イメージ図

Wired BOX-Type をご使用にあたっては、上記のハードウェア以外に iOS デバイス用のアプリケーションが必要になります。弊社から無償供給する SDK を用いて、iOS デバイス用のアプリケーションを作成することができます。SDK は弊社ホームページよりダウンロードできます。

<https://asreader.jp/downloads/asr-032w/>

また、アプリケーションの開発には、ホームページよりダウンロードできる SDK マニュアルとサンプルコードもご参照ください。

1.5. 製品仕様

型式	ASR-032W	
RFID	規格	ISO 18000-63 (旧 18000-6C) / EPC global Class 1 Gen 2
	周波数	920.6~923.4MHz 日本モデル
	送信出力	Max 200mW (23dBm)
	アンテナポート	SMA male x8 ポートごとに送信出力の設定が可能。
	機能	Inventory
電源	入力	<ul style="list-style-type: none"> ・RJ45 x1 PoE (IEEE802.3at 準拠) ※使用する PoE ハブ/インジェクタと Ethernet ケーブルは必ず下記の仕様のものをご利用ください。 Ethernet ケーブル： カテゴリ 5e 以上 PoE ハブ/インジェクタ： IEEE802.3at 対応
	出力	<ul style="list-style-type: none"> ・USB-C x1 : 12.5W ※iOS 端末充電用 ・USB 2.0 Type-A x4 : 2500mW (4 ポート合計) ※それ以上の入力が必要な機器を接続する場合はセルフパワーの USB ハブを経由して接続してください。
通信インターフェース	Ethernet	RJ45
	USB-C	iOS 端末との接続するための専用 Lightning ケーブルまたは専用 USB Type-C ケーブル接続用。 iOS アプリ開発用の専用 SDK を提供。
	USB 2.0 Type-A x4	バーコードスキャナ等の HID 機器や ESC/POS 対応のプリンタ等を接続可能。
	コンソール	メンテナンス用ポート(お客様のご利用は不可)。
外観	寸法 (W)x(D)x(H)	220 × 145 × 29 mm
	質量	約 530g
	素材	アルミニウム
	筐体色	黒
	表示 LED	電源 LED (赤) システム LED (橙) ネットワークリンク LED (緑) データ通信 LED (緑)

環境性 能	動作温度	-10~45 °C、20~85 % RH
	保管温度	-20~60 °C、10~95 % RH
適合規格		TELEC Apple MFi CE RoHS
対応ケーブル (別売)		Wired BOX 専用 Lightning ケーブル (ASP-066) または専用 Wired BOX 専用 USB Type-C ケーブル (ASP-064)

本製品の仕様は予告なしに変更される場合があります。

2 機器の接続

2.1. アンテナの接続

アンテナの RF ケーブルを Wired BOX-Type のアンテナポートに接続してください（[図 1-3-1 ①](#)参照）。最大で 8 本のアンテナを接続することができます。コネクタのネジは緩みなく締め込んでください。コネクタが緩むと読み取り性能が低下します。

RFID アンテナとアンテナケーブルは別売です。

接続することができる RFID アンテナとアンテナケーブルは販売会社にお問い合わせください。当社製品指定以外の RFID アンテナ及びケーブルを接続すると電波法違反となり法律に罰せられます。



図 2-1-1 アンテナの接続

2.2. HID デバイスの接続

バーコードスキャナなどの HID デバイスを Wired BOX-Type の USB Type-A ポート ([図 1-3-2](#) [⑨](#)参照) に接続してください。Wired BOX-Type の USB ポートからの出力は 4 ポート合計で 2500mW(5V/500mA)です。それ以上の消費電力が必要な機器を接続する場合はセルフパワーの USB ハブを経由して Wired BOX-Type と該当の機器を接続してください。



図 2-2-1 バーコードスキャナの接続

2.3. プリンターの接続

プリンターを Wired BOX-Type の USB Type-A ポート ([図 1-3-2](#) [⑨](#)参照) に接続し、プリンターの電源を接続してください。

プリンターは ESC/POS に対応した製品を使用してください。



図 2-3-1 プリンターの接続

2.4. キャッシュドローアの接続

プリンターを Wired BOX-Type に接続した後、キャッシュドローアをプリンターに接続してください。キャッシュドローアはプリンターを通して制御されます。



図 2-4-1 キャッシュドローアの接続

2.5. iOS デバイスの接続

Wired BOX-Type の USB Type-C ポートに同梱の Lightning ケーブルまたは USB Type-C ケーブルを接続し、iOS デバイスに接続してください（[図 1-3-1](#) [②](#)参照）。



図 2-5-1 iOS デバイスの接続

2.6. PoE 給電機器の接続

1. PoE 給電機器と Wired BOX-Type を Ethernet ケーブル（RJ45 インターフェース、[図 1-3-2](#) [③](#)参照）で接続してください。

2. PoE 給電機器とルーターを Ethernet ケーブル(RJ45 インターフェース)で接続してください。

接続する PoE 給電機器は IEEE 802.3at の規格の機器をご使用ください。

接続する Ethernet ケーブルはカテゴリ 5e 以上の UTP ケーブルをご使用ください。



図 2-6-1 PoE スイッチの接続

2.7. 電源オン/電源オフ

電源オン：機器の接続が完了した後、PoE 給電機器の電源を入れます。Wired BOX-Type の 4 つの LED がすべて点灯すれば、機器の電源が正常に入ったことになります。



図 2-7-1 Wired BOX-Type の電源オン

電源オフ：PoE 給電機器の電源を切ってください。または、Wired BOX-Type を PoE 給電機器か

ら外してください。

3 デモアプリケーション操作説明書

3.1. Wired BOX-Type の接続

接続

Wired BOX-Type DemoApp で「Setting」をタップして設定画面に遷移します。



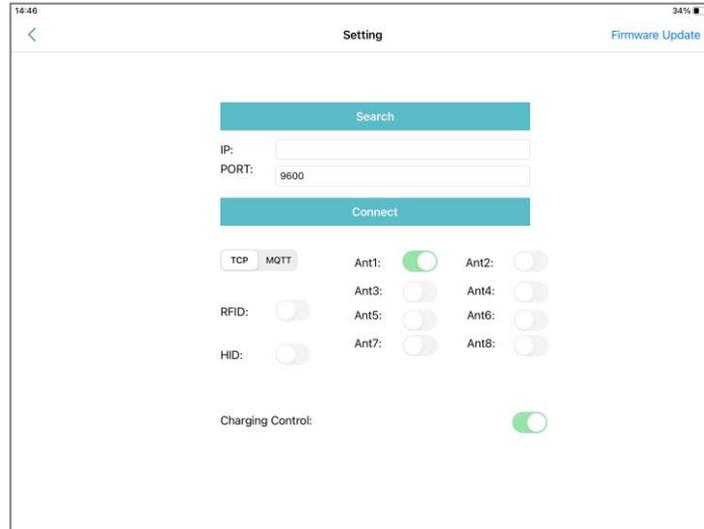


図 3-1-1 設定画面

設定画面で TCP、MQTT 通信プロトコルのいずれかを選択して「Search」をタップします。

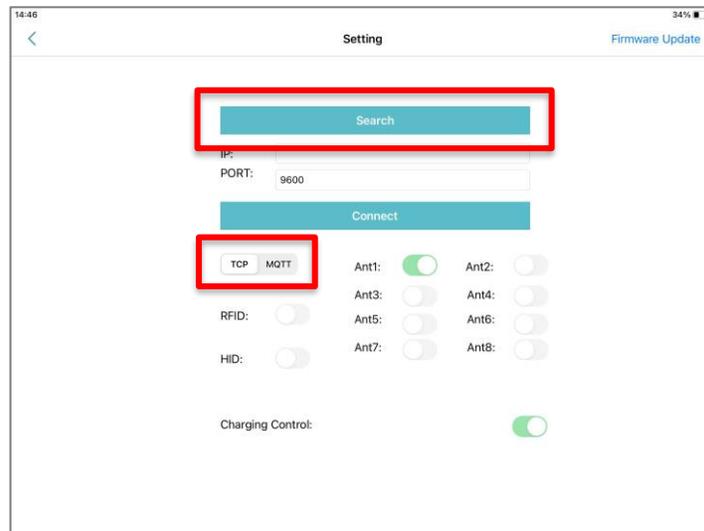


図 3-1-2 Wired BOX-Type の検索

Wired BOX-Type の IP アドレスが表示されます。

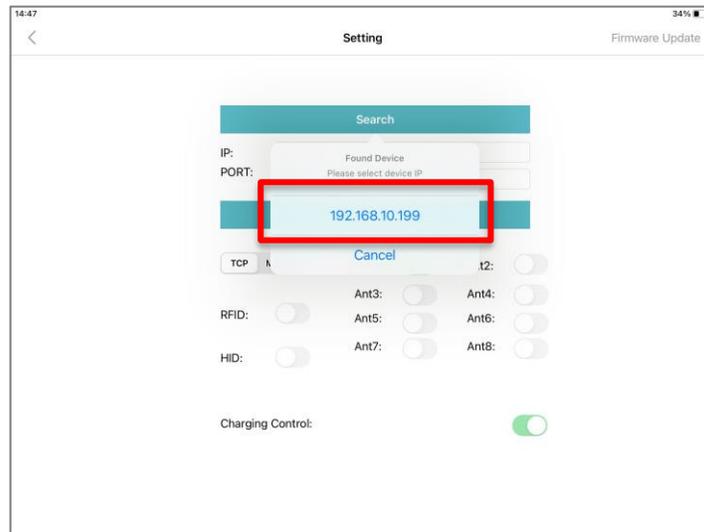


図 3-1-3 Wired BOX-Type の IP アドレス

該当の Wired BOX-Type の IP アドレスをタップします。「Connect」ボタンが「Disconnect」になれば、接続が成功し、各機能ボタンが有効になります。

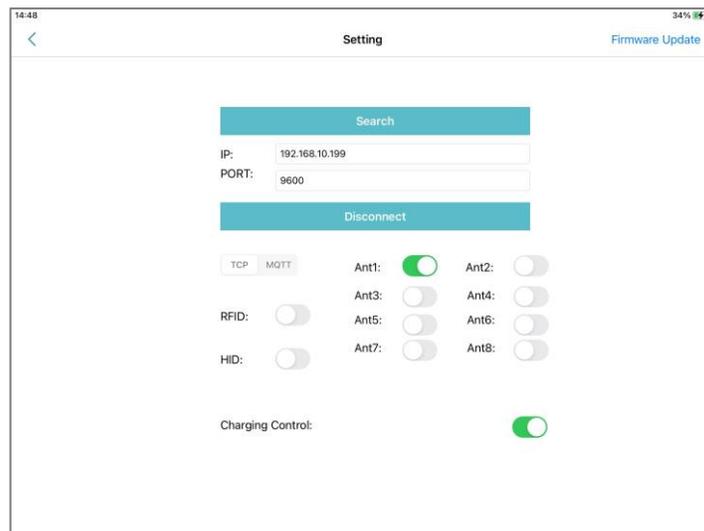


図 3-1-4 接続が成功した場合

iOS デバイスとの接続しているケーブルを抜き差しすると、iOS デバイスと Wired BOX-Type の接続は一旦切断され自動的に再接続されます。再接続に 10 数秒程度かかる場合があります。

切断

「Disconnect」をタップすると、Wired BOX との接続が解除されます。

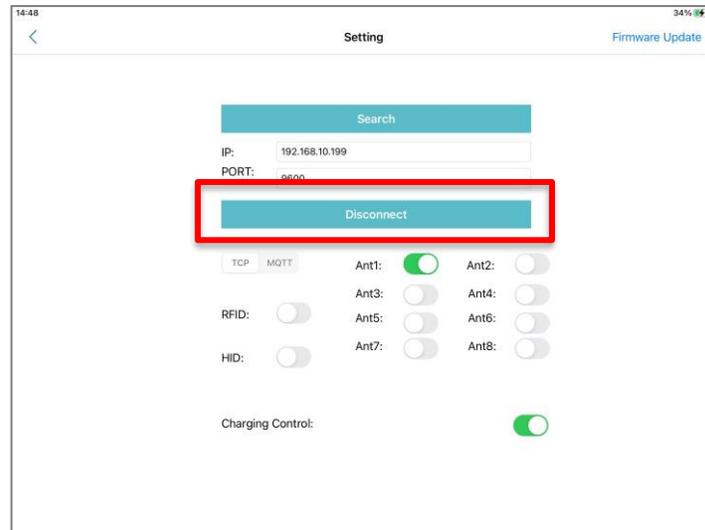


図 3-1-5 切断

3.2. ネットワーク設定

このページでは、Wired BOX-Type の IP アドレスを設定します。固定 IP アドレスまたは動的 IP アドレスの設定が可能です。

**図 3-2-1 ネットワーク**

アプリのトップページにある「Network」をタップしてネットワーク設定画面に遷移し、Wired BOX-Type の検索を開始します。

**図 3-2-2 Wired BOX-Type の検索**

検索が完了すると Wired BOX-Type の IP アドレスが表示されます。

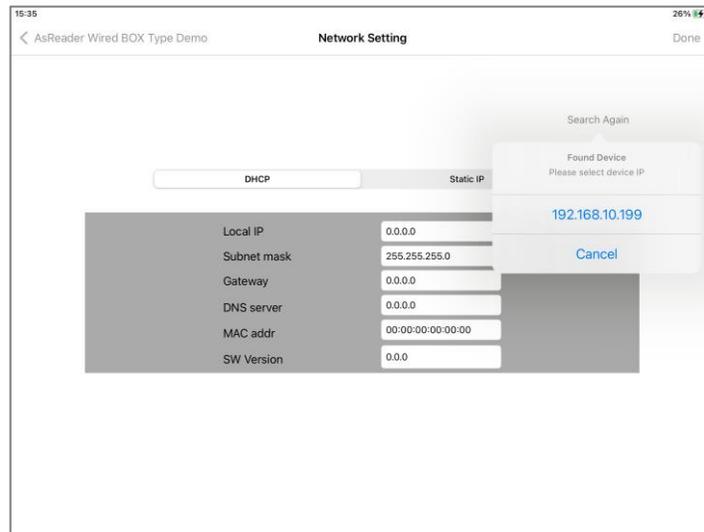


図 3-2-3 検索された IP アドレス

検索された IP アドレスをタップすると、現在の Wired BOX-Type の設定が動的 IP アドレスの場合は「DHCP」が、静的 IP アドレスの場合は「Static IP」が自動的に選択されます。Wired BOX-Type の工場出荷時は「DHCP」です。



図 3-2-4 Wired BOX-Type の IP アドレス

固定 IP アドレスに変更する場合は①「Static IP」を選択し、②「Local IP」などの値を変更し、③

「Done」をタップします。設定する IP アドレスはご利用になられるネットワーク環境のネットワーク管理者にお問い合わせください。

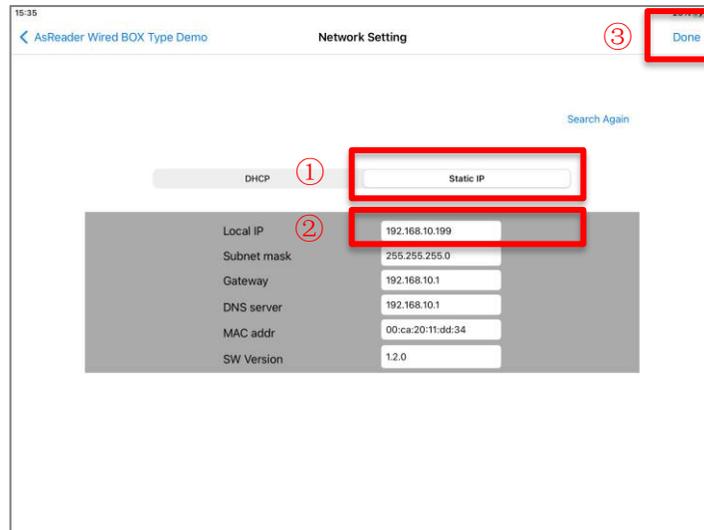


図 3-2-5 固定 IP アドレスの設定

IP アドレスの設定が完了すると以下のメッセージがポップアップ表示されます。

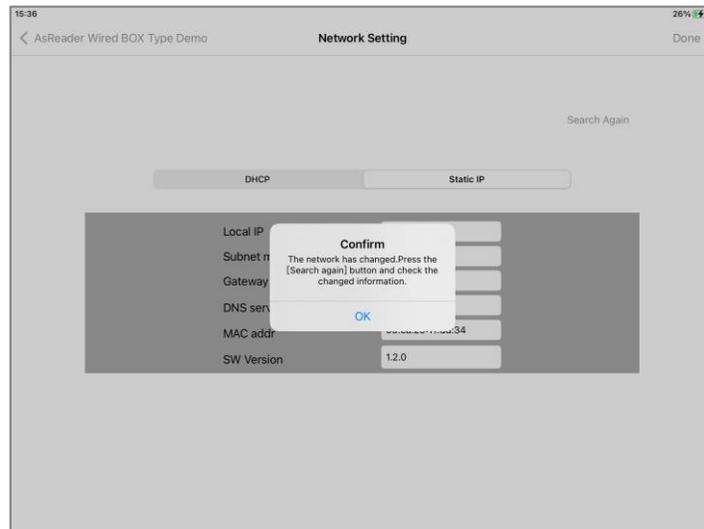


図 3-7-6 IP アドレスの設定完了

動的 IP アドレスに変更する場合は①「DHCP」を選択し、②「Done」をタップします。

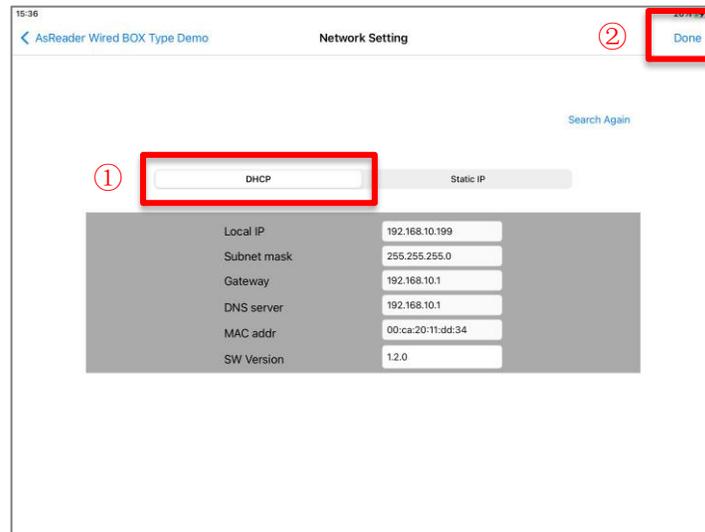


図 3-2-7 動的 IP アドレスの設定

IP アドレスの設定が完了すると以下のメッセージがポップアップ表示されます。

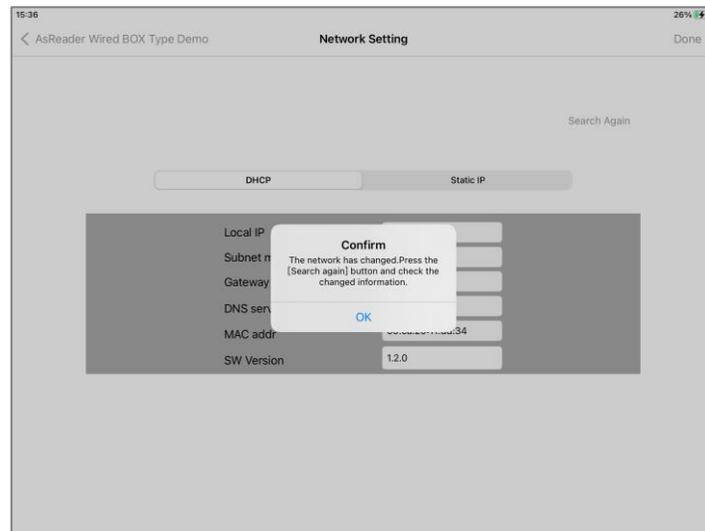


図 3-2-8 IP アドレスの設定完了

3.3. 基本機能設定

設定画面の機能として、Wired BOX-Type の検索、Wired BOX-Type の接続、通信プロトコルの

選択、RFID スイッチ、HID スイッチ、ファームウェア更新、Charging Control スイッチがあります。

TCP/MQTT：通信プロトコルとして TCP または MQTT を選択できます。

RFID：有効にすると RFID タグの読み取りすることが可能です。

HID：有効にするとバーコードスキャナーなど HID デバイスからのデータを受信することが可能です。

Firmware Update：Wired BOX-Type と RFID モジュールファームウェアを更新します。

Charging Control：Wired BOX-Type から iOS デバイスへの充電を制御可能です。

1. Charging Control 有効

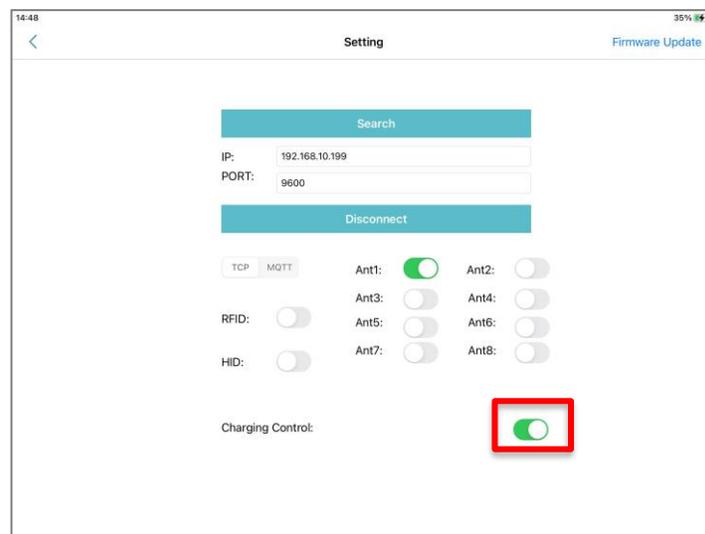


図 3-3-1 Charging Control 有効

2. Charging Control 無効

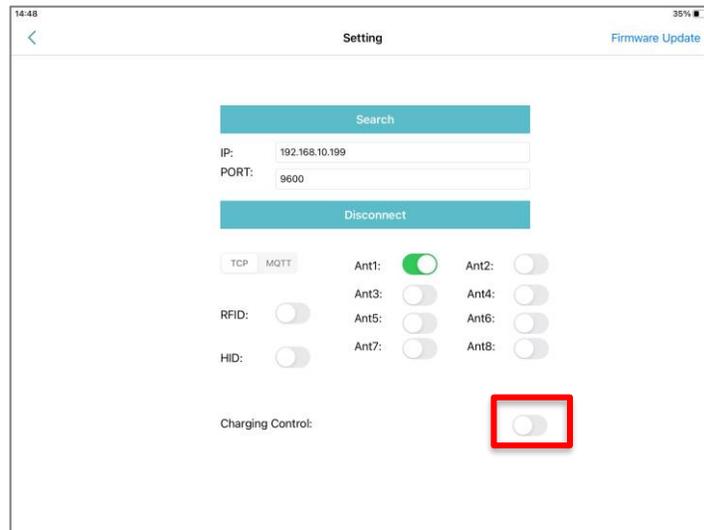


図 3-3-2 Charging Control 無効

USB Type-C ケーブルを使用している場合、Charging Control を切り替えると iOS デバイスと Wired BOX-Type の接続が一旦切断され自動的に再接続されます。再接続に 10 数秒程度かかる場合があります。

3.4. RFID タグの読み取り

Wired BOX-Type にアンテナを接続してください（「[2.1 アンテナの接続](#)」参照）。本アプリの設定画面に遷移して RFID スイッチを有効にしてください。対応するアンテナスイッチを有効にしてください。（デフォルトでは、アンテナ 1 のスイッチが有効になっています。）

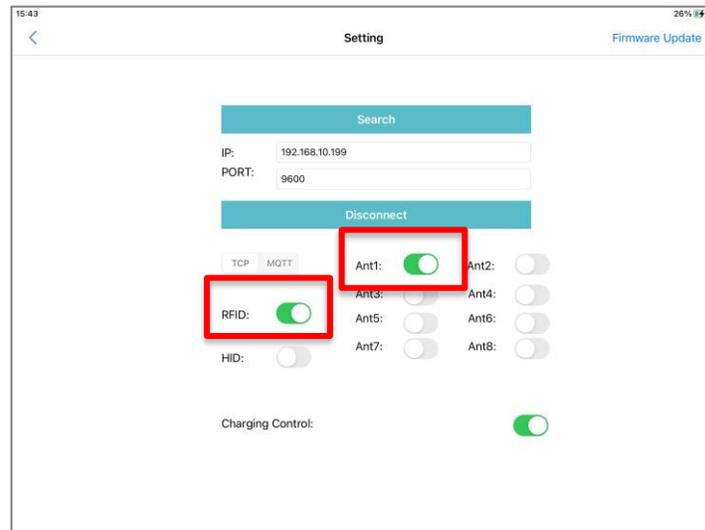
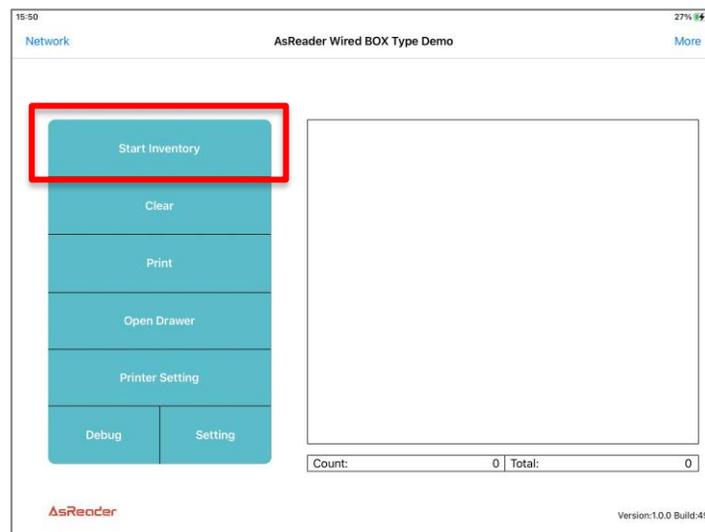


図 3-4-1 RFID 有効

設定画面左上の「<」をタップすると、本アプリのトップページに戻ります。「Start Inventory」をタップすると、RFID タグの読み取りが開始されます。ページの右側に読み取ったタグの EPC データと読み取り回数が表示されます。



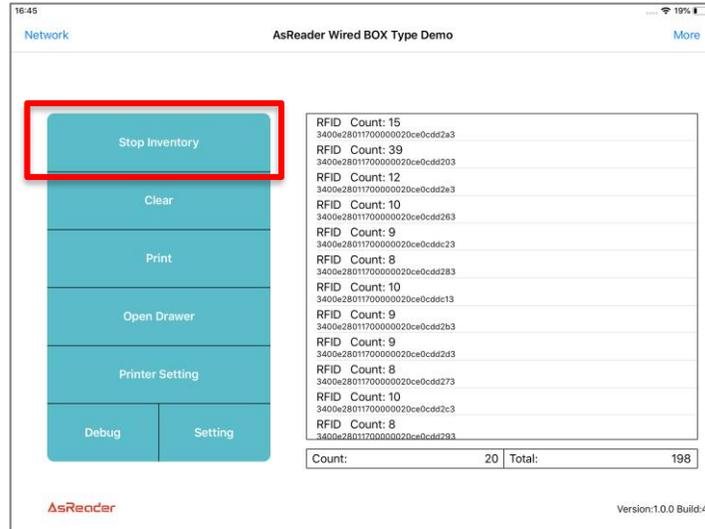


図 3-4-2 RFID タグの読み取り

読み取りをやめる場合は「Stop Inventory」をタップしてください。

3.5. バーコードの読み取り

バーコードスキャナーを Wired BOX-Type に接続してください（[「2.2 HID デバイスの接続」](#)参照）。

アプリの設定画面に遷移して HID スイッチを有効にしてください。

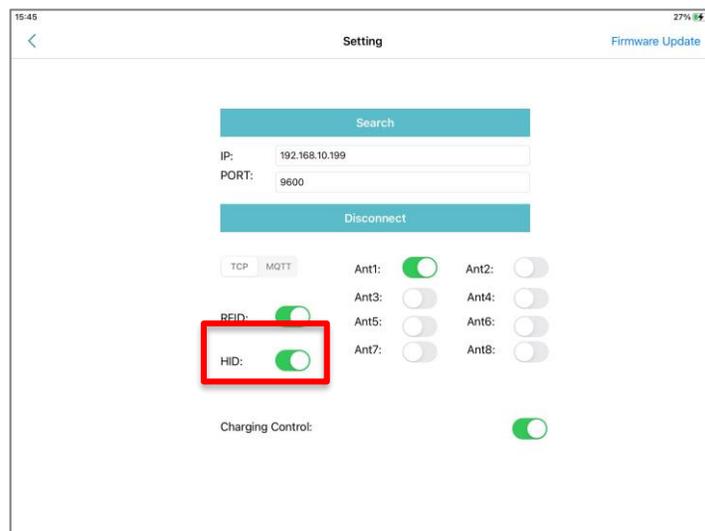


図 3-5-1 HID 有効

本アプリのトップページに戻り、バーコードスキャナーでバーコードを読み取ることができます。ページの右側に読み取ったバーコードの内容と数量が表示されます。



図 3-5-2 バーコードの読み取り

3.6. プリント

3.6.1. プリンター設定

アプリのトップページにある「Printer Setting」をタップして、プリンター設定画面に遷移します。

このページでは、レシートの印字内容やレシート用紙のカット方法を設定することができます。

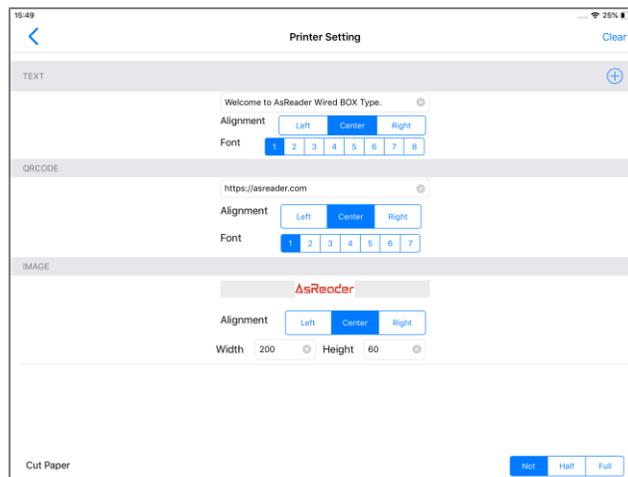


図 3-6-1-1 プリンター設定画面

(1) TEXT

このエリアでは、印字するテキストの内容、配置、サイズを変更することができます。

(2) QR CODE

このエリアでは、印字する QR コードの内容、配置、サイズを変更することができます。

(3) IMAGE

このエリアでは、他の画像を選択し、印字する画像の配置、幅、高さを変更することができます。

(4) Cut Paper

レシート用紙のカット方法をカットなし、ハーフカット、フルカットから選択することができます。

3.6.2. レシート印刷

プリンターを Wired BOX-Type に接続してください ([2.3 プリンターの接続](#)参照)。

プリンター設定画面で「<」をタップすると、本アプリのトップページに戻ります。「Print」をタップすると、メッセージがポップアップします。



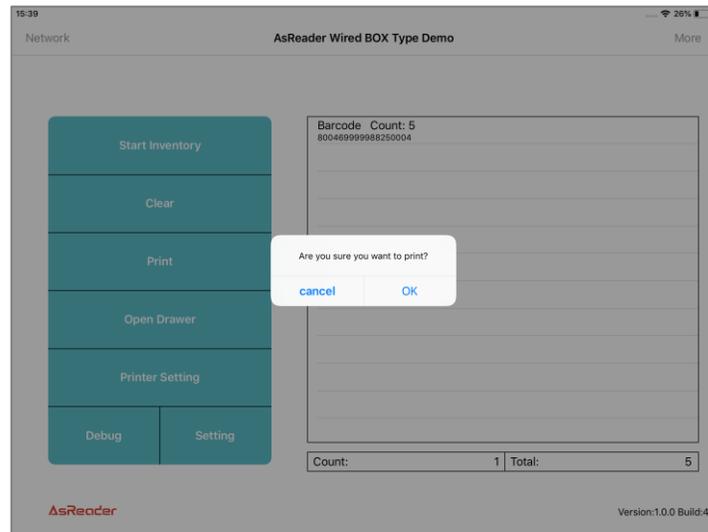


図 3-6-2-1 レシートの印刷

「OK」をタップすると、レシートが印字され印刷成功のメッセージが表示されます。

3.7. キャッシュドロア

キャッシュドロアをプリンター経由で Wired BOX-Type に接続してください（[2.4 キャッシュドロアの接続](#)参照）。アプリのトップページにある「Open Drawer」をタップすると、キャッシュドロアが開きます。



図 3-7-1 キャッシュボックスを開く

3.8. RFID 設定

本アプリのトップページにある「More」をタップすると、RFID 設定ページが表示されます。このページでは、RFID に関するパラメータを設定することができます。

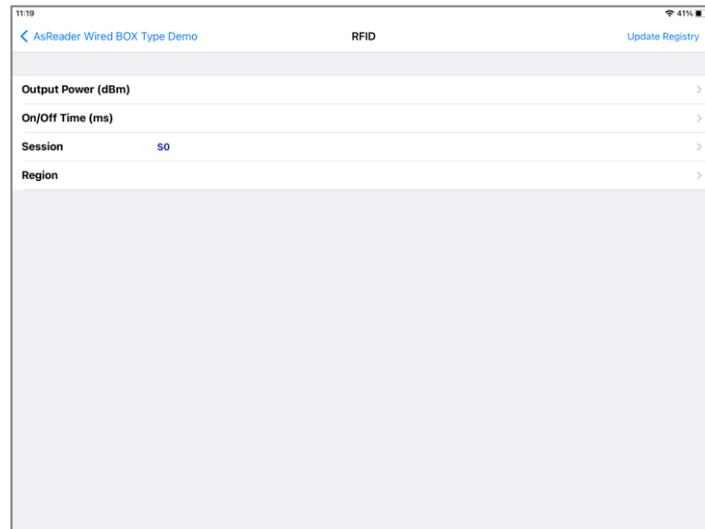


図 3-8-1 RFID 設定ページ

注：設定画面の「RFID」が有効の場合のみ、アプリのトップページの「More」がタップできます。

3.8.1. Output Power

RFID ページの「Output Power」をタップすると、Output Power ページに遷移し、各アンテナの電波出力を設定することができます。設定値が大きいほど、より遠くの RFID タグを読み取ることができます。

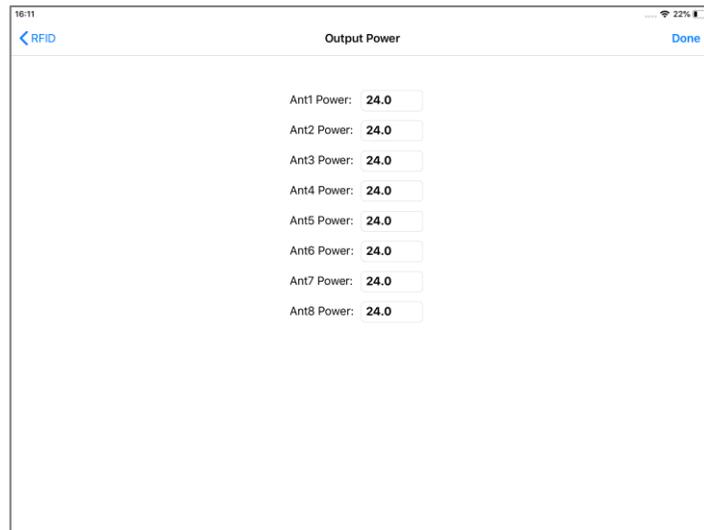


図 3-8-1-1 Output Power ページ

アンテナの電波出力を変更し、「Done」をタップすると設定が完了します。

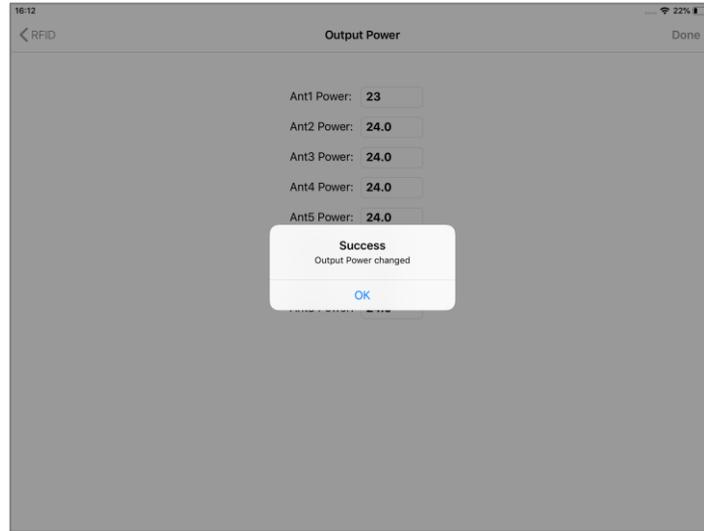


図 3-8-1-2 Output Power の変更

3.8.2. On/Off Time

RFID ページの「On/Off Time」をタップすると、On/Off Time ページが表示され、各アンテナの電波出力時間（On Time）と全アンテナの電波停止時間（Off Time）を設定することができます。

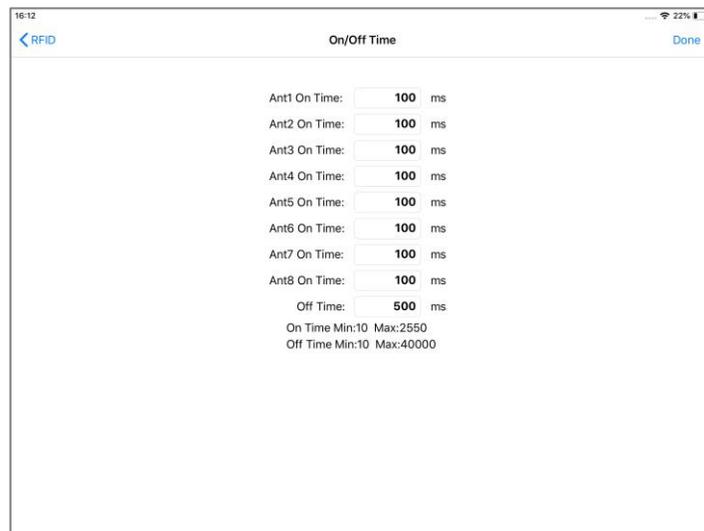


図 3-8-2-1 On/Off Time ページ

アンテナ毎の On/Off Time を変更し、「Done」をタップして設定を完了させます。On Time の範囲

は 10-2550ms、Off Time の範囲は 10-40000ms です。On Time の 1 桁目の数字は切り捨てられます。例：入力値が "55" の場合、保存値は "50" になります。

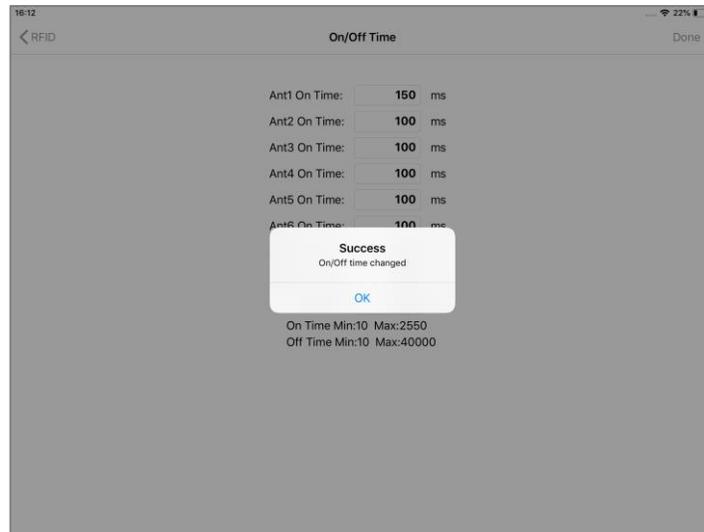


図 3-8-2-2 On/Off Time の変更

※各国の電波法では以下の設定が義務付けられています。ご利用の際は、この範囲内で設定を行ってください。

規格	On Time	Off Time
電波法（日本）	4000ms 以下	50ms 以上
FCC（米国）	400ms 以下	20ms 以上
CE（EU）	4000ms 以下	100ms 以上

3.8.3. Session

RFID ページの「Session」をタップすると、Session ページが表示されます。このページでインベントリのセッションを設定することができます。

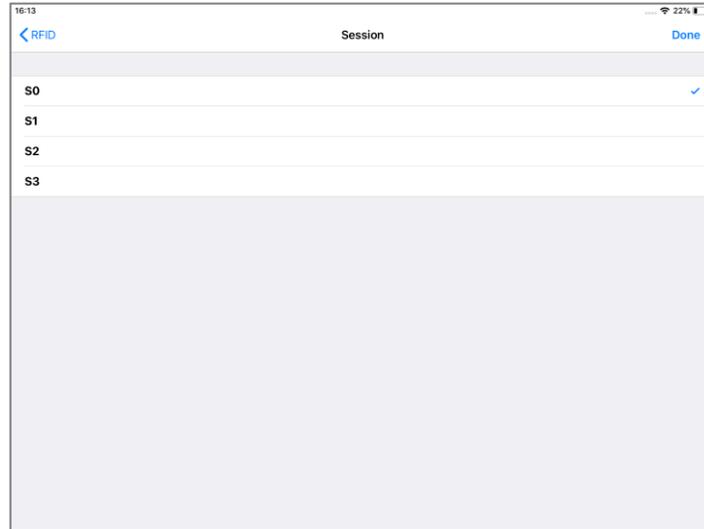


図 3-8-3-1 Session ページ

セッションを選択して "Done"をタップすると、設定が完了します。

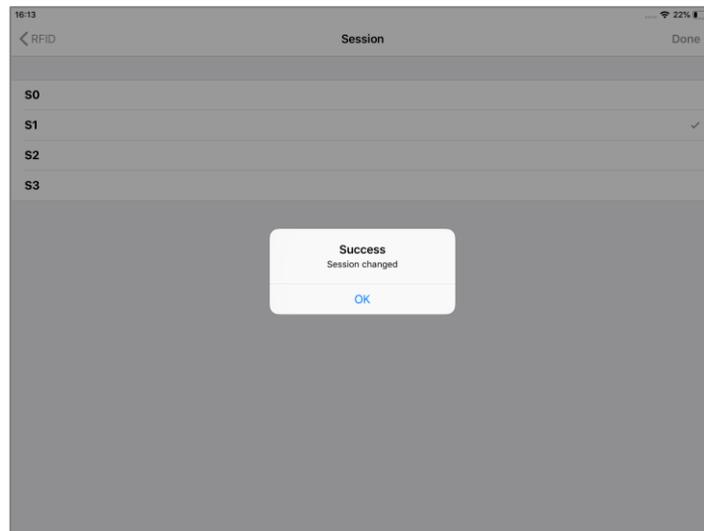


図 3-8-3-2 Session の変更

3.8.4. Region

RFID ページの「Region」をタップすると、Region ページが表示されます。このページで地域（または国）を設定することができます。

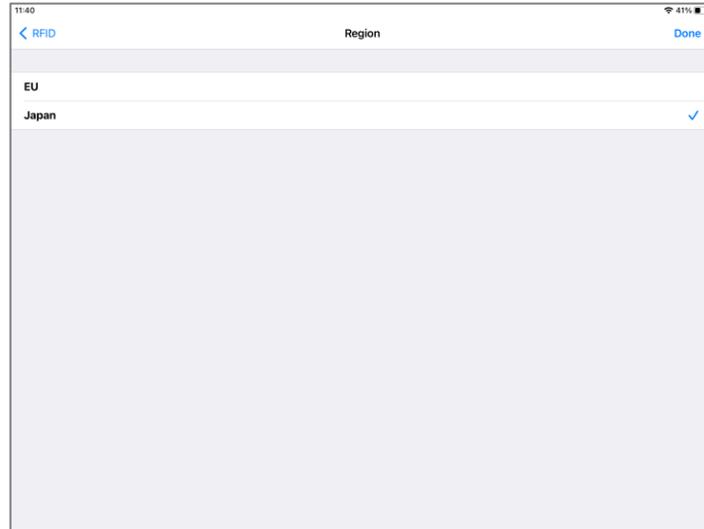


図 3-8-4-1 Region ページ

地域（または国）を選択して "Done"をタップすると、設定が完了します。

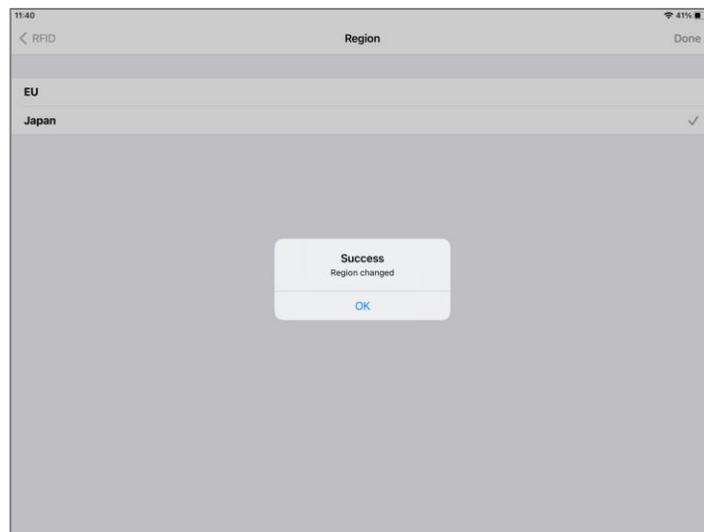


図 3-8-4-2 Region の変更

3.8.5. Update Registry

RFID ページの「Update Registry」をタップして、Wired BOX-Type に設定を保存してください。

Wired BOX-Type の再起動後も、これらの設定は維持されます。

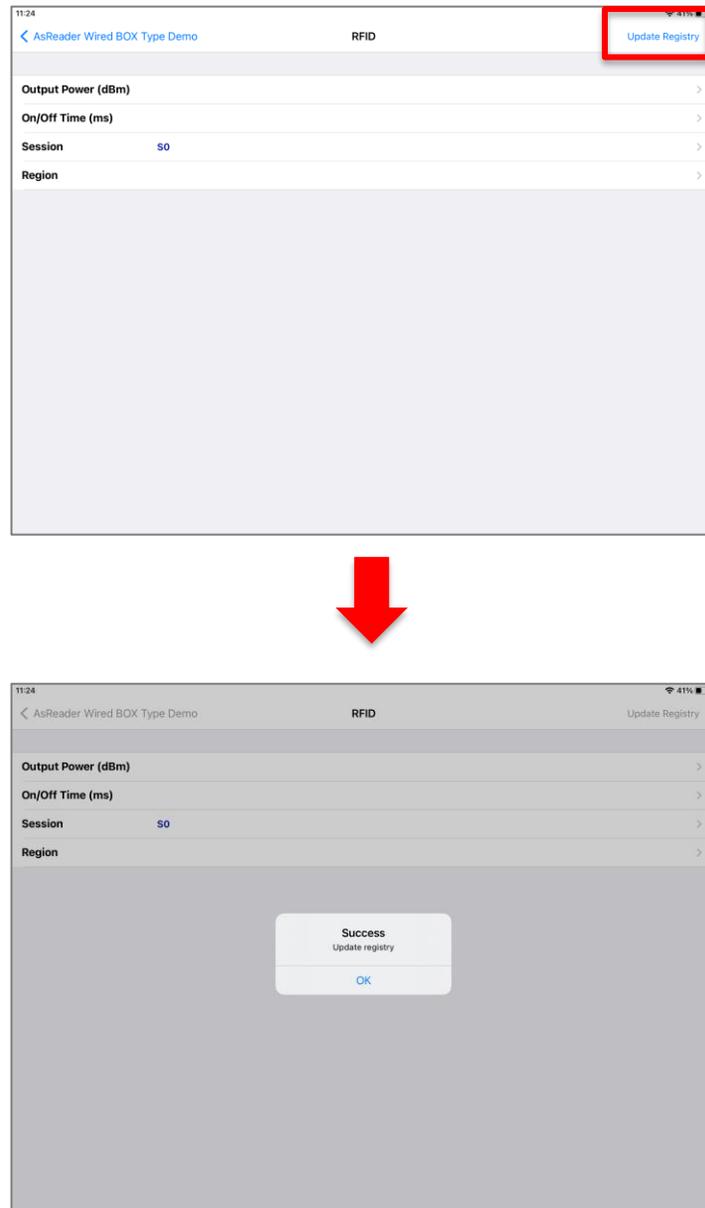


図 3-8-5-1 設定の保存

3.9. ファームウェア更新

本アプリのトップページにある「Setting」をタップして、設定画面に遷移します。

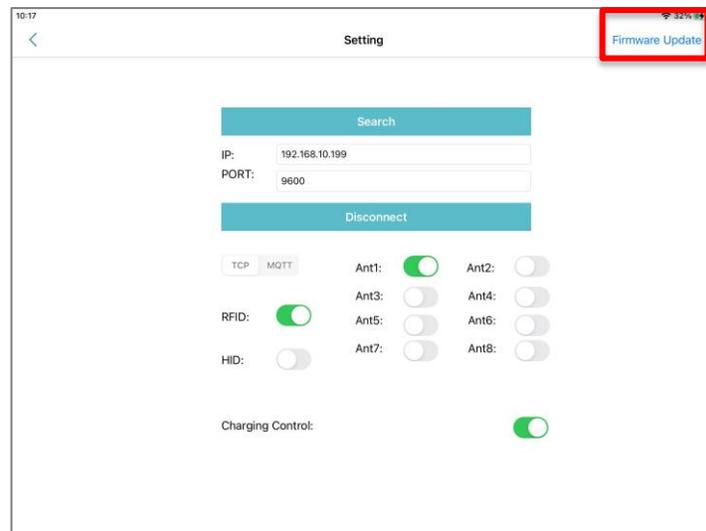


図 3-9-1 設定画面

上図の「Firmware Update」をタップすると、「Firmware Update List」のページが表示されます。

「Net Board」と「RFID Module」を更新することができます。

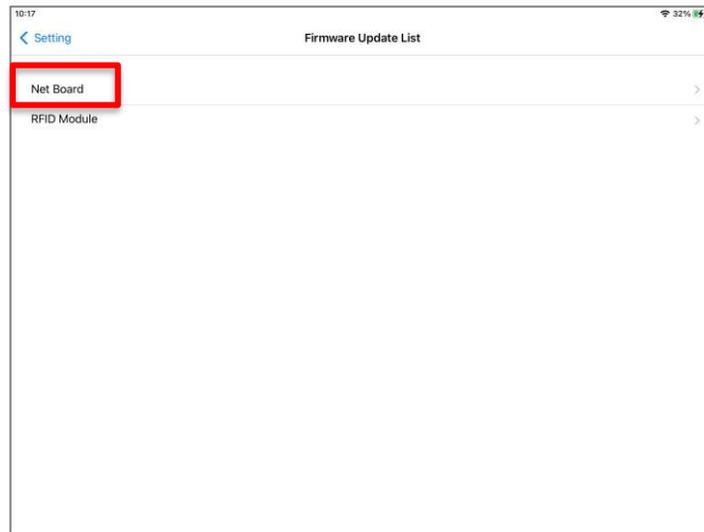


図 3-9-2 Firmware Update List ページ

3.9.1. ネットワーク機能ファームウェアの更新

上図の「Net Board」をタップすると、「Net Board」のページが表示されます。

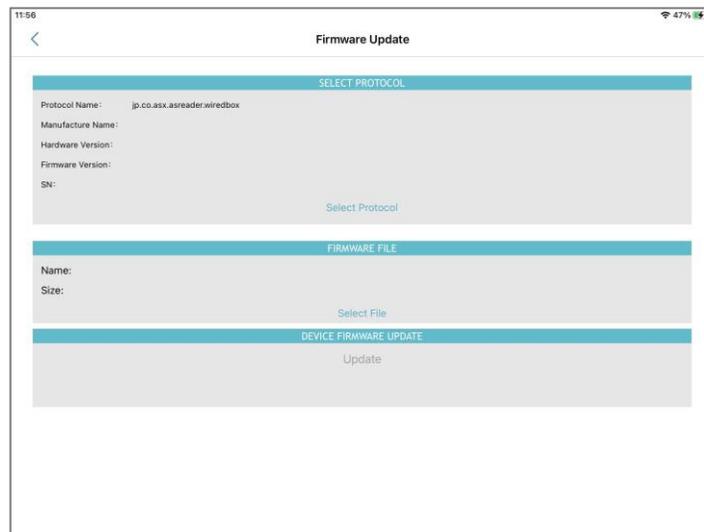


図 3-9-1-1 Firmware Update ページ

「Select Protocol」をタップすると、プロトコル選択画面がポップアップされます。

「jp.co.asx.asreader.wiredbox」を選択します。

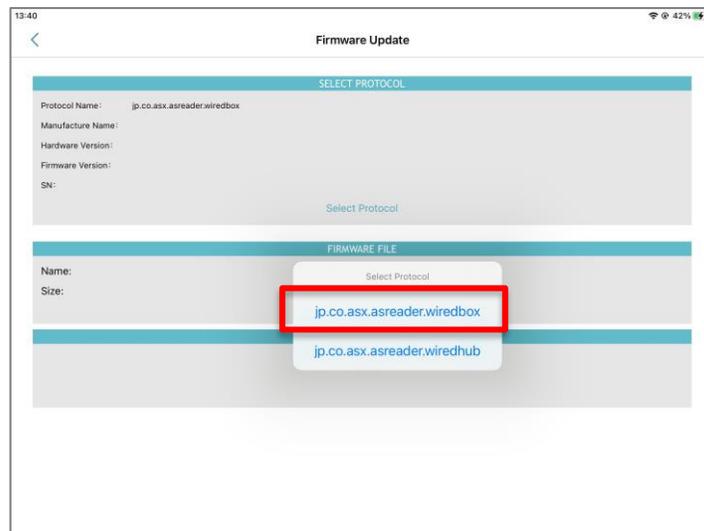
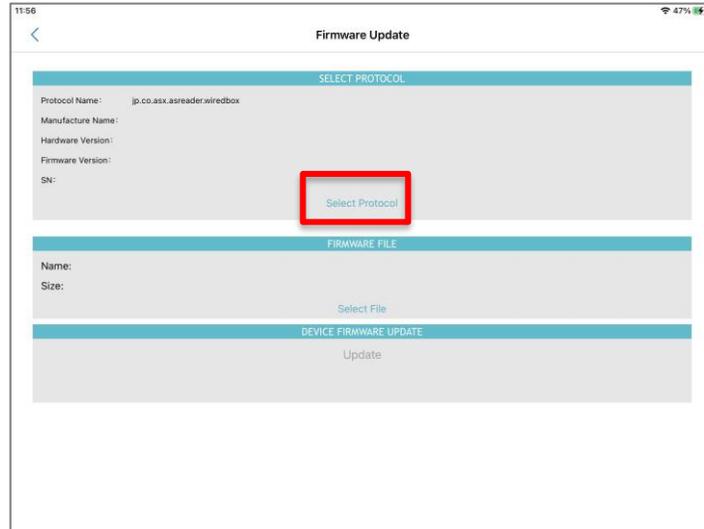


図 3-9-1-2 プロトコルの選択

デバイス情報を表示します。

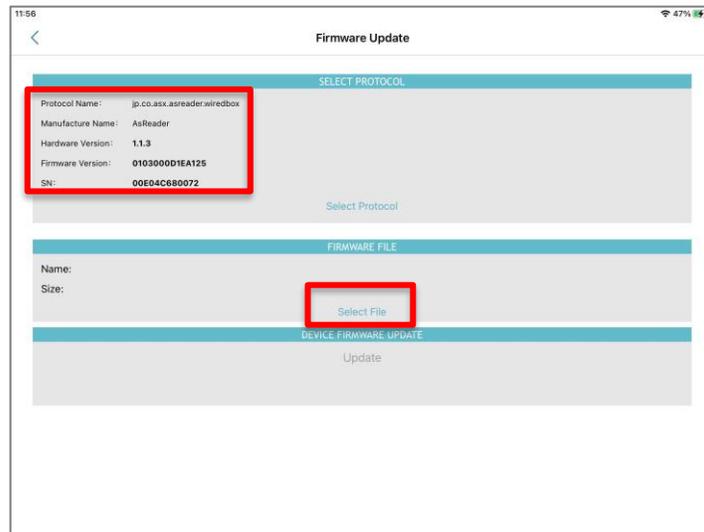


図 3-9-1-3 デバイス情報

上図の「Select File」をタップすると、「Select File」ページが表示され、現在更新可能なファームウェアファイルの一覧が表示されます。「Sync」をタップすると、該当のファームウェアファイルを当社サーバからダウンロードします。

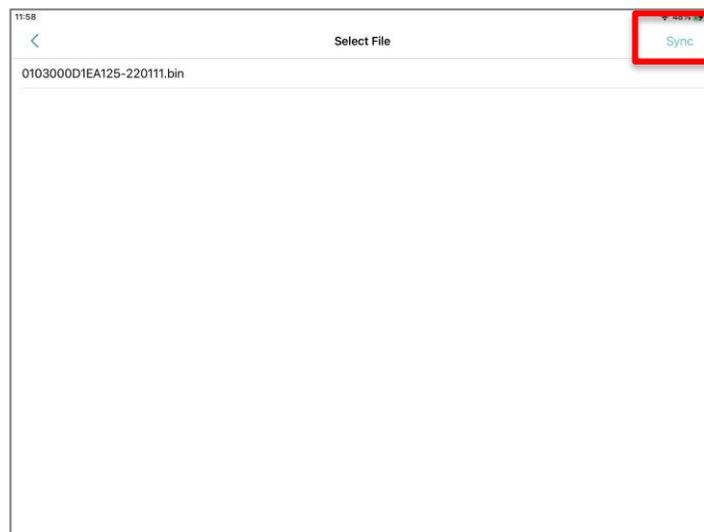


図 3-9-1-4 ファームウェアの更新

ファームウェアファイルのダウンロードが正常に終了すると、下図のメッセージが表示されます。

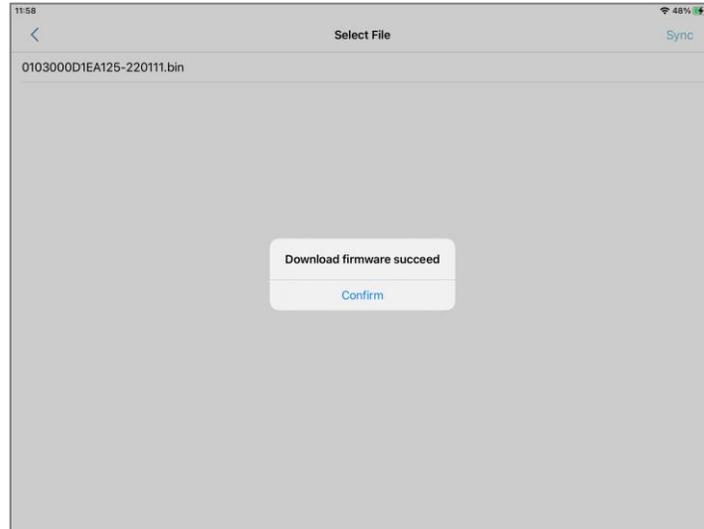


図 3-9-1-5 ファームウェアファイルのダウンロード完了

更新したいファームウェアファイルを選択し、「Select File」をタップすると、Firmware Update 画面に戻ります。

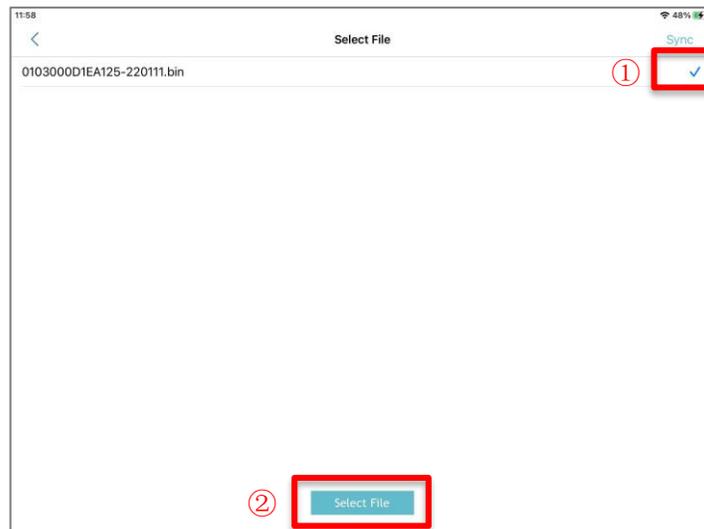


図 3-9-1-6 ファームウェアファイルの選択

「Update」をタップすると、ファームウェアの更新が開始されます。

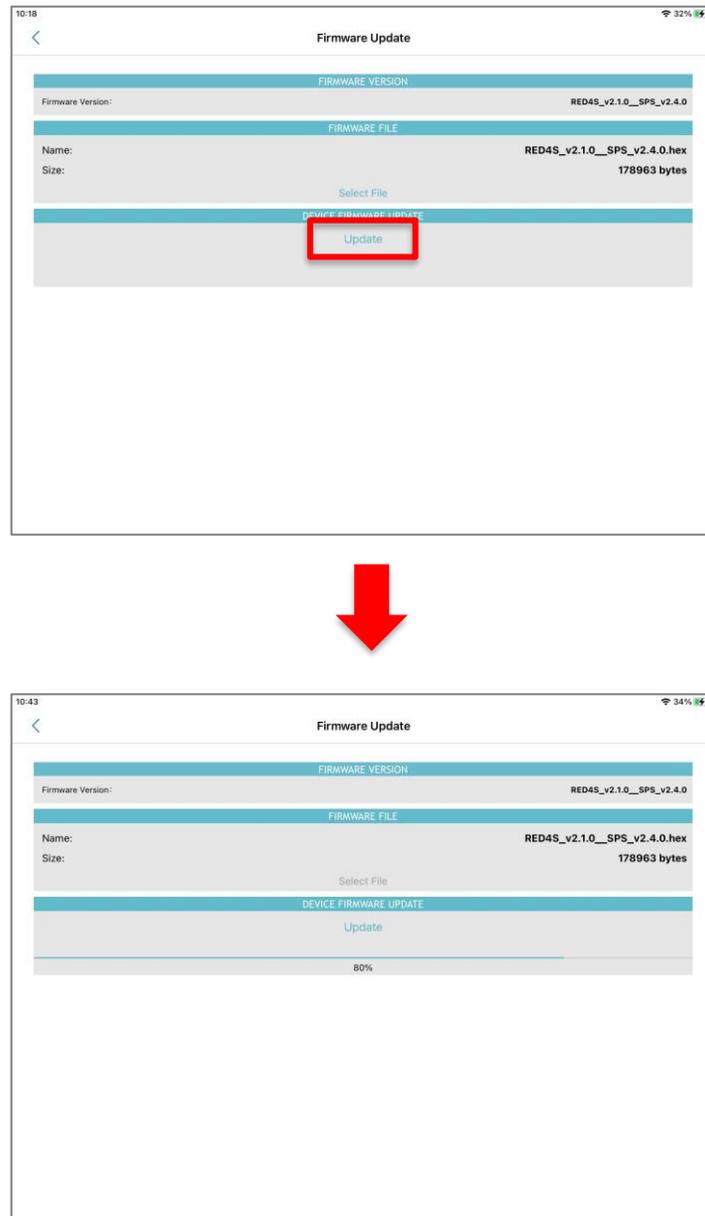


図 3-9-1-7 ファームウェアの更新

ファームウェアの更新が成功になると、「Successful update!」のメッセージが表示されます。

3.9.2.「RFID Module」ファームウェアの更新

図 3-9-2 にある「RFID Module」をタップすると、「RFID Module」のページが表示されます。

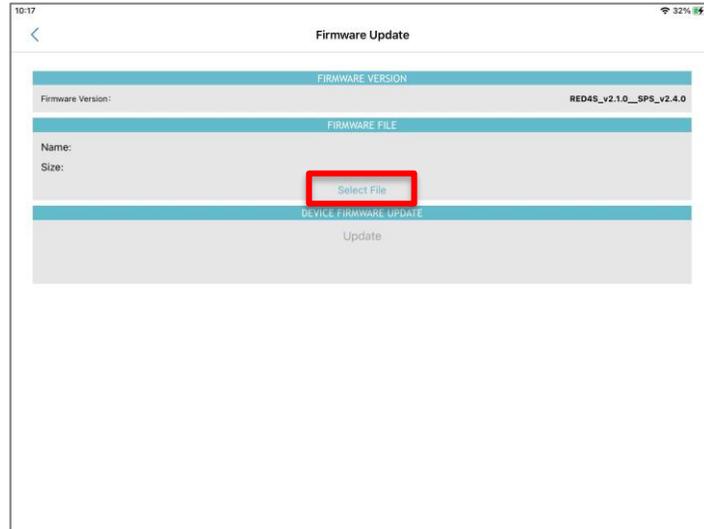


図 3-9-2-1 Firmware Update ページ

注：Setting 画面の RFID スイッチが On にする場合のみ、「RFID Module」のファームウェア更新画面に入れます。RFID スイッチが Off の場合、「RFID Module」をタップすると、「Please Open RFID Switch!」メッセージが表示されます。

上図の「Select File」をタップすると、「Select File」ページが表示され、現在更新可能なファームウェアファイルの一覧が表示されます。「Sync」をタップすると、当社サーバから該当のファームウェアファイルをダウンロードします。



図 3-9-2-2 ファームウェアの更新

ファームウェアファイルのダウンロードが正常に終了すると、下図のメッセージが表示されます。

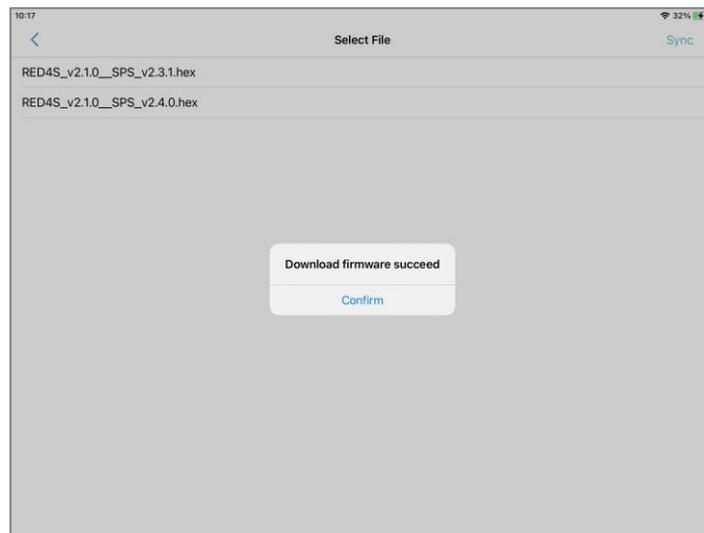


図 3-9-2-3 ファームウェアファイルのダウンロード完了

更新したいファームウェアファイルを選択し、「Select File」をタップすると、Firmware Update ページに戻ります。

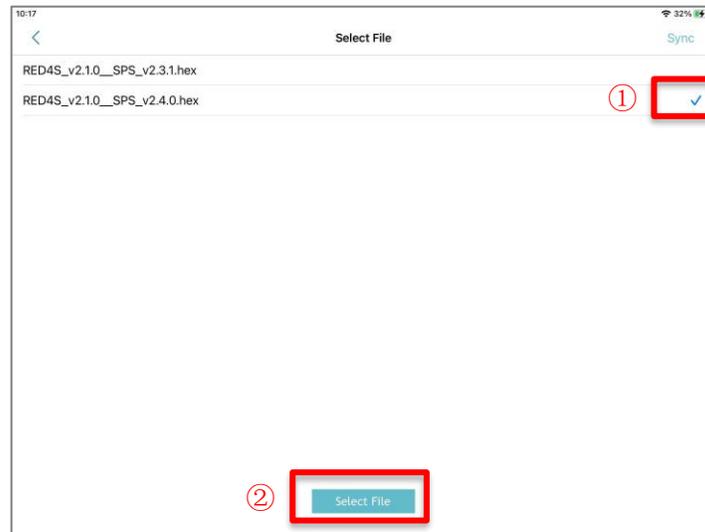
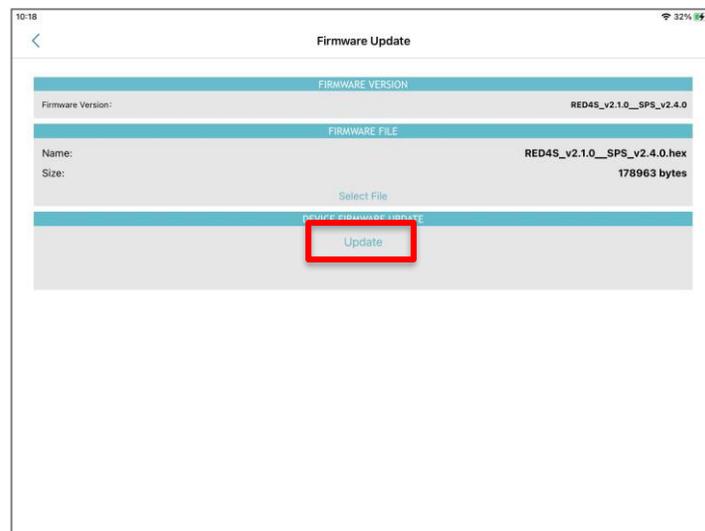


図 3-9-2-4 ファームウェアファイルの選択

「Update」をタップすると、ファームウェアの更新が開始されます。



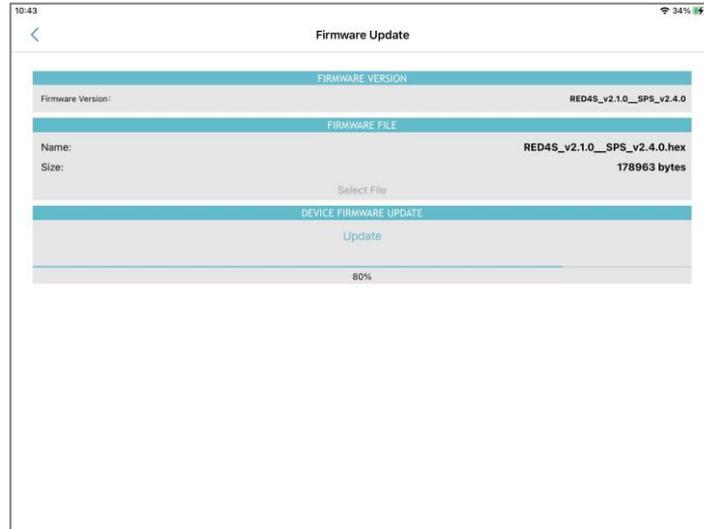


図 3-9-2-5 ファームウェアの更新

ファームウェアの更新が成功になると、「Successful update!」のメッセージが表示されます。

4 Wired BOX-Type OS アップデート

1) Wired BOX-Type と通信できる環境に接続されたパソコンのブラウザにて Wired BOX-Type の IP アドレスにアクセスします。該当アドレスはアプリ側で「Search」機能で検索することができます。

例：192.168.1.101。

2) ユーザ名とパスワードを入力（初期値はいずれも「root」）して、「Login」ボタンをタップします。

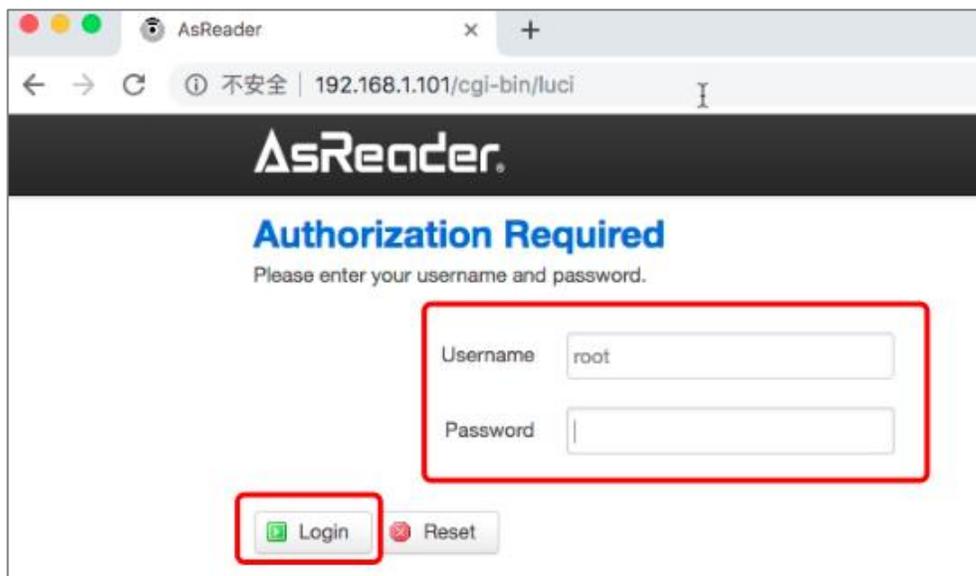


図 4-1 Login 画面

3) トップ画面のメニューにある「System」→「Backup/Flash Firmware」をタップします。

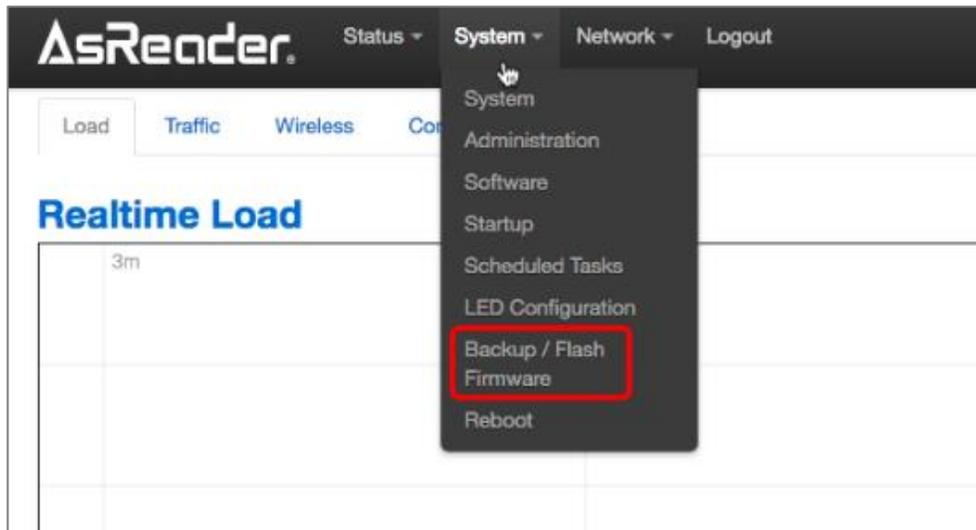


図 4-2 firmware update 画面

4) 画面下の「Flash new firmware image」にある「Choose file」ボタンをタップします（下図参照）。

注意：「Keep settings」を選択した場合、ファームウェア更新後もブラウザから設定できる現在の Wired BOX-Type の設定（ネットワーク設定など）が保持されます。

「Keep settings」を選択しない場合、ファームウェア更新後に設定は初期化されます。

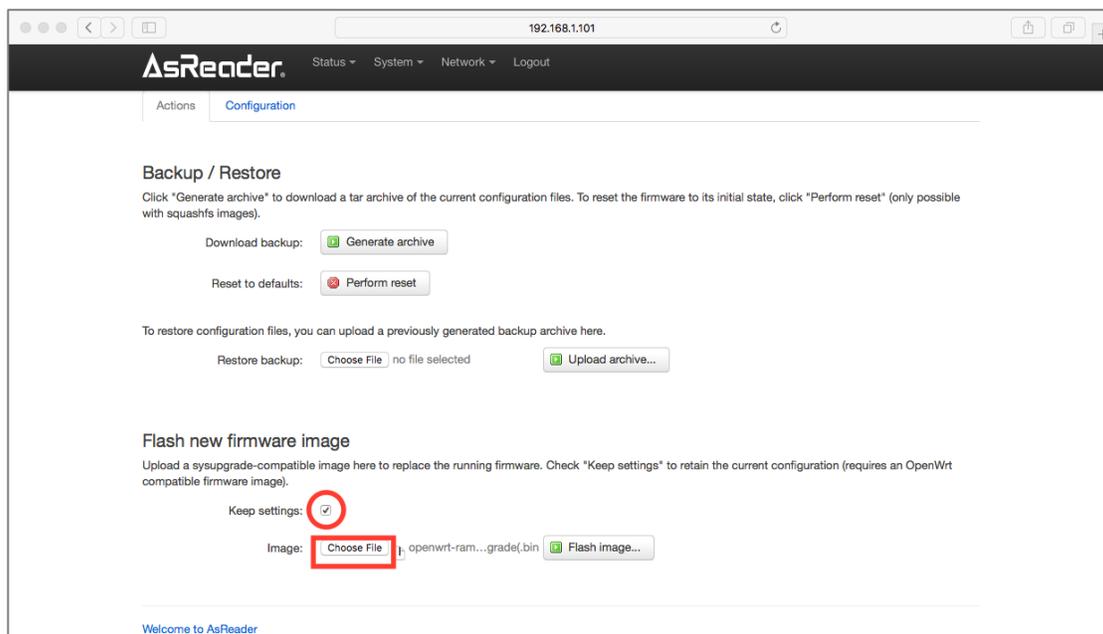


図 4-3 firmware の選択

- 5) ファイル選択画面でアップデートしたいファームウェアを選択して「開く」をタップします。
- 6) 「Flash image…」をタップします（図 4-3 の右下）。
- 7) 正しくファームウェアを選択すると、下記のようにチェックコードが表示されます。

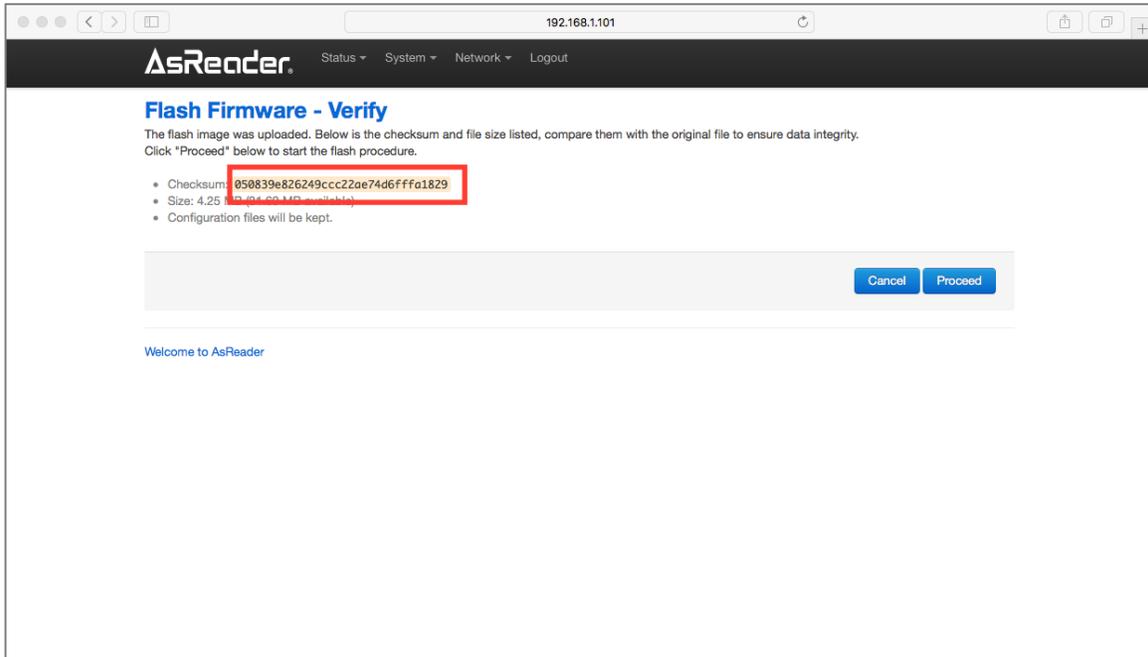


図 4-4 ファームウェアを検証

- 8) 「Proceed」ボタンをタップすると、ファームウェアアップデートを行います。ファームウェアのアップデートには数分間がかかります。アップデートが完了すると、Wired BOX-Type が自動的に再起動されます。
- 9) Wired BOX-Type の 4 つの LED が全部点灯状態になると再起動は完了です。

5

トラブルチェック

5.1. 故障かなと思ったとき

販売会社に連絡される前に、次のことをご確認ください。

① Wired BOX-Type と iOS デバイスが接続できない

・iOS の設定アプリから Ethernet の項目が表示されているか確認してください。表示がない場合は iOS デバイスと Wired BOX-Type を接続するケーブルが物理的に接触不良を起こしているか、Wired BOX-Type の電源が入っていない可能性があります。iOS デバイスと Wired BOX-Type の接続ケーブルを再接続するか、Wired BOX-Type のネットワークケーブルを再接続してください。

・iOS の設定アプリで Ethernet の項目があるが正しい IP アドレスが取得できていない場合、Wired BOX-Type 自体が Ethernet に正しく接続されていない可能性があります。設定される IP アドレスについてはご利用のネットワーク環境のネットワーク管理者にお問い合わせください。

・iOS の設定アプリで Ethernet の項目があり、正しい IP アドレスが取得できているが Wired BOX-Type に接続できない場合、Wired BOX-Type 自体の IP アドレスが正しく設定されていない可能性があります。デモアプリケーションで Wired BOX-Type の IP アドレスを確認してください。動的 IP アドレスの場合は、IP アドレスの取得に時間がかかる場合もあります。

・iOS の設定アプリで Ethernet の項目があり、正しい IP アドレスが表示されるが、アプリで Wired BOX-Type を検出できず接続できない場合、iOS デバイスが WIFI に接続されている可能性があります。

ます。iOS デバイスの WIFI を無効にしてから、再度接続してください。

② RFID タグの読取ができない

・RFID アンテナ、RFID アンテナケーブルの接続コネクタが確実に接続されていることを確認してください。接続コネクタに緩みがあると RFID タグの読取ができない場合があります。

・アプリケーションで使用する Wired BOX-Type のアンテナ接続端子に正しく RFID アンテナケーブルが接続されているか確認してください。

③ バーコードリーダーでバーコードの読取ができない

・消費電力が大きいバーコードリーダーは Wired BOX-Type からの給電だけでは動作しない可能性があります。（Wired BOX-Type の USB の出力は 4 ポート合計 2500mW です）

Wired BOX-Type にセルフパワーの USB ハブを接続してからバーコードリーダーを接続してください。

**AsReader Wired BOX-Type RFID
(ASR-032W)**

取扱説明書

2024年12月 第3版作成

株式会社アスタリスク

〒532-0013 大阪府大阪市淀川区木川西 2 丁目 2-1 AsTech Osaka Building